

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2017 年 19 週 (5 月 2 週 5/8 ~ 5/14)

2017 年 4 月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

水痘、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、後天性免疫不全症候群、エボラ出血熱

病原体検出情報

定点医療機関コメント

インフルエンザ、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌感染症、RSウイルス感染症、マイコプラズマ感染症、流行性耳下腺炎、ヒトメタニューモウイルス感染症等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(25)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、レジオネラ症(3)、アメーバ赤痢(3)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(3)、急性脳炎(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(3)、侵襲性肺炎球菌感染症(4)、梅毒(4)

2017 年 4 月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

水痘

豊橋市内の学校で水痘の集団発生がありました。

19 週の定点当たり報告数は 0.60、18 週 56 人→19 週 109 人(1.95 倍)です。

2017 年 19 週までの水痘 (入院例に限る。)の累積報告数 (診断週集計) は 4 件です。2016 年 19 週までの累積報告数は 3 件、2016 年の総報告数は 14 件でした。

【参考ページ】学校における感染症 (水痘) の発生について (豊橋市)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/item/50100.html>

水痘 (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/sa/varicella.html>

咽頭結膜熱 (図 1)

19 週の定点当たり報告数は 0.38、18 週 41 人→19 週 69 人(1.68 倍)です。

【参考ページ】疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (図 2)

19 週の定点当たり報告数は 2.21、18 週 230 人→19 週 403 人(1.75 倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html

後天性免疫不全症候群 (図 3)

2017 年 19 週までの累積報告数 (診断週集計) は 22 件 (男 22 件、女 0 件) です。2016 年 19 週までの累積報告数は 29 件 (男 25 件、女 4 件)、2016 年総報告数は 99 件 (男 91 件、女 8 件) でした。全国の 2017 年 18 週までの累積報告数は 429 件です (2016 年総報告数は 1,442 件)。

6 月 1 日から 6 月 7 日は「HIV 検査普及週間」です。今年度も休日エイズ即日検査が実施されます。

【参考ページ】平成 29 年度「HIV 検査普及週間」について (愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000082980.html>

アイチエイズインフォメーション (愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/aids/index.html>

エボラ出血熱

【参考ページ】エボラ出血熱に関する注意喚起について (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000164712.pdf>

エボラ出血熱について (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708.html>

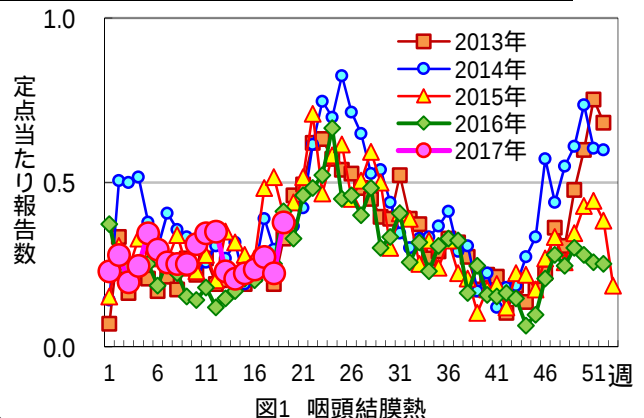


図1 咽頭結膜熱

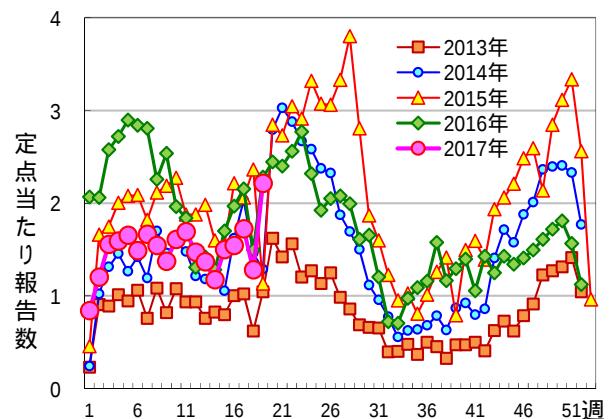


図2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

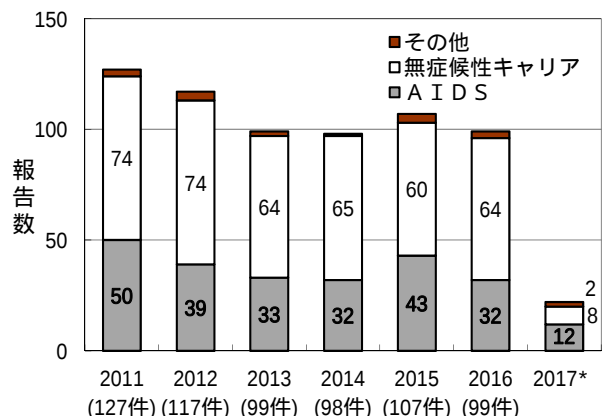


図3 後天性免疫不全症候群の年別・病型別報告数 (愛知県、診断週集計 *2017年は2017年5月16日現在)

病原体検出情報 —2017年疾患別ウイルス検出速報— (2017年5月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ 2016/2017 シーズン	** 麻しん・風しん
患者数	85	7	1	7	1	2	7	574	3(4)
CV-A6	-	1	1	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	-	-	-	-	-	-	1	-
CV-A16	-	1	-	-	-	-	-	-	-
E-6	1	-	-	-	-	-	-	1	-
HRV	-	-	-	-	-	-	-	2	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	10	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	407	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	27	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	14	-
Rota A G1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	6	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G8	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	2	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	19	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	1	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	5	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	-	1	-	-	-	1	-
Ad-2	2	-	-	1	-	-	-	1	-
Ad-3	-	-	-	-	-	-	-	1	-
Ad-41	3	-	-	-	-	-	-	-	-
検査中	36	3	0	5	0	1	4	44	2(0)
陰性	13	2	0	0	1	1	3	66	1(4)

*インフルエンザは2016/2017シーズン(2016年9月～)の結果

**麻しん・風しんの()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、

FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、

FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、HRV: ヒトライノウイルス、

NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA、SV: サボウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- アデノウイルス感染 1歳女
インフルエンザB型 1名
【一宮市 後藤小児科医院】
- ノロ 4歳女
アデノ 10歳男
インフルエンザB型 4名
インフルエンザA型 1名
【稲沢市 愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院】
- インフルエンザB型 1名
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- ロタウイルスを含む感染性胃腸炎増加しています。
溶連菌感染症、アデノウイルス感染症もやや目立ちます。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- RSウイルス散発
インフルはなくなりました。
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 42歳女 病原大腸菌O1検出
インフルエンザB 1名
胃腸かぜ多い様です。
【清須市 丹羽医院】
- インフルエンザB型 4名
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

- 溶連菌感染症小流行あり
その他目立った感染症なし
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- インフルA型 0名
インフルB型 1名
【長久手市 医療法人水野内科】
- 未だ胃腸炎が多くみられます。
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザ陽性報告なし
RSV、ロタは多いです。
【春日井市 春日井市民病院】
- 胃腸炎目立ちます。
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- インフルエンザB型 1名
A群溶連菌感染 5名
感染性胃腸炎 5名
突発性発疹数名あり
【南知多町 医療法人大岩医院】
- アデノウイルス(3歳男 5歳男)
ロタウイルス(8歳男 3歳男)
感染性胃腸炎多いです。
ムンプス同一校で流行中
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- アデノウイルス感染症 1名(1歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】
- インフルエンザB型 (5歳女 1名
13歳男 1名 51歳女 1名)
【東海市 公立西知多総合病院】

西三河地区

- インフルエンザB型陽性 4歳女
StrepA 陽性 7歳女
【豊田市 星ヶ丘たなかクリニック】
- アデノ(+) 2歳女 2歳男
【岡崎市 にいのみ小児科】
- マイコプラズマ感染症 9歳男 9歳女
インフルエンザB型 3名
溶連菌感染症が多い。
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- アデノ(咽) 4歳女
溶連菌感染症が増えてきました。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- インフルエンザB型 2名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
- インフルエンザ感染症散見されます。すべてA型です。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
- インフルエンザA型 1名
インフルエンザB型 2名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
- 溶連菌感染症、水痘、流行性耳下腺炎時々います。
【碧南市 永井小児クリニック】
- アデノウイルス感染症 3歳女
B型インフルエンザ 4人
カンピロバクター 7歳女
病原性大腸菌 0歳女
【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

- 6歳男 カンピロバクター腸炎
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- インフルエンザB型 1名
【豊橋市 医療法人山本内科】
- インフルエンザB型 3名
【豊橋市 医療法人杉浦内科】
- インフルエンザA型 1名
【豊橋市 おだかの医院】
- インフルエンザA型 2名
インフルエンザB型 14名 計16名
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
- ヒトメタニューモ 1名
【新城市 新城市民病院】
- インフルエンザB型 1名
【豊川市 豊川市民病院】
- 病原性大腸菌O125 1歳男
【豊川市 ささき小児科】
- ヒトメタニューモ 1歳男
【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】
- マイコプラズマ 1名
ロタウイルス 1名
B型インフルエンザ 1名
アデノウイルス 7名
カンピロバクター 1名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2017年5月17日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun161121.pdf>

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2017年19週報告数			2017年総計(1～19週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市(16保健所合計)	10	2	2	211	48	56
豊田市				20	5	4
豊橋市	1			24	5	9
岡崎市	1			16	4	4
一宮	1	1		41	19	14
瀬戸	1			34	3	12
半田	1	1		23	5	10
春日井	2			54	11	20
豊川				15	6	1
津島	3	1		31	6	5
西尾	1	1		12	6	1
江南				12	3	2
新城				1		
知多	2		1	23	7	5
清須				6	4	1
衣浦東部	2		1	26	7	9
合計	25	6	4	549	139	153

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	岡崎市	20歳	女	- / -	5 / 9	5 / 11	O103、VT1(+) 無症状病原体保有者
2	衣浦東部	15歳	女	- / -	5 / 2	5 / 5	O26、VT1(+) 無症状病原体保有者

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

● レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊田市	77歳	男	肺炎型	国内
2	一宮	59歳	男	肺炎型	国内
3	瀬戸	66歳	男	肺炎型	香港

● アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	62歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内
2	名古屋市	43歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内
3	名古屋市	62歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内

● カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	豊田市	88歳	女	不明	国内	無
2	半田	72歳	男	医療器具関連感染	国内	無
3	豊川	82歳	男	不明	国内	無

● 急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	0歳	男	病原体不明	国内

● 劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	豊田市	19歳	男	国内
2	岡崎市	87歳	女	国内

● 侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	0歳	女	有	国内
2	豊田市	65歳	男	無	国内
3	岡崎市	1歳	男	有	国内

● 侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊田市	79歳	男	不明	国内
2	江南	1歳	女	有	国内
3	衣浦東部	3歳	女	有	国内
4	衣浦東部	82歳	男	有	国内

● 梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	24歳	女	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	45歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	一宮	41歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	江南	56歳	男	早期顕症	性的接触	国内

2017年4月報

(2017年5月15日現在、診断週に基づく集計)

4月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [() は無症状病原体保有者再掲]

2016～2017年に報告のあった 疾病名及び病型 () 内は全数把握対象疾病数		2017年4月			2017年 累計 < 愛知県全体 >	2016年 総計 < 愛知県全体 >
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	81 (26)	49 (12)	130 (38)	502 (142)	1,741 (445)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (0)	9 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	9 (3)	1 (0)	10 (3)	19 (5)	160 (53)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (2)
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	3	5
	A型肝炎	0	0	0	0	5
	オウム病	1	0	1	1	1
	ジカウイルス感染症*	0	0	0	0	2
	チクングニア熱	0	0	0	0	3
	つつが虫病	0	0	0	0	3
	デング熱	0	1	1	1	20
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	ブルセラ症	0	0	0	1	0
	マラリア	0	0	0	1	1
	レジオネラ症	4	3	7	19	97
五類 (22)	アメーバ赤痢	4	3	7	18	68
	ウイルス性肝炎	0	1	1	1	5
	内訳 B型	0	1	1	1	4
	内訳 その他	0	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	0	2	2	23	76
	急性脳炎	3	2	5	16	39
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	2	13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5	3	8	17	26
	後天性免疫不全症候群	2	4	6	22	99
	内訳 無症候性キャリア	0	2	2	8	64
	内訳 AIDS	2	2	4	12	32
	内訳 その他	0	0	0	2	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	0	3	8	25
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	3	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	16	2	18	88	156
	水痘(入院例に限る。)	0	0	0	4	14
	梅毒	10	9	19	78	258
	内訳 無症候	4	4	8	25	69
	内訳 早期顕症	6	5	11	50	180
	内訳 晩期顕症	0	0	0	2	9
	内訳 先天梅毒	0	0	0	1	0
	播種性クリプトコックス症	1	0	1	5	11
	破傷風	1	0	1	1	5
	風しん	0	0	0	0	20
	麻しん	0	0	0	1	5
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	2
	総 計	141	81	222	838	2,890

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2017年4月			2017年 累計		2016年 総計	
			愛知県	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体	愛知県全体		
			<名古屋市除く>		合計	合計	合計		
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	27	41	68	271	482	905	1,555
		女	40	23	63	211		650	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	14	7	21	69	175	231	633
		女	14	12	26	106		402	
	尖圭コンジローマ	男	7	8	15	63	95	207	313
		女	4	0	4	32		106	
	淋菌感染症	男	12	24	36	132	153	483	554
		女	3	1	4	21		71	
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		57	23	80	330		957	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		13	0	13	44		102	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		1	0	1	1		0	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年11月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症* (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

2017年19週(2017年5月8日～2017年5月14日)

[illegible]

2017年19週(2017年5月8日～2017年5月14日)

愛知県衛生研究所

[illegible]

グラフ総覧

2017年19週(5月8日～5月14日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2017年19週までの定点当たり報告数のうち、本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

